

# 各診療科推奨モデルコース

各診療科おすすめモデルコース一覧  
 モデルコースの研修順は一例で、実際の研修順は異なる場合があります。

## 総合診療科プログラム

総合医養成コース

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科（院外）			外科（院外） （選必1）			内科（院内）			総合診療科 （院内） （選択1）			放射線科 （選択2）		産婦人科 （選択3）		精神科 （選必3）		救急（院外）			小児科（院外） （選必2）		

← 地域医療（週1） →

（コメント）

できるだけ幅広い領域をまんべんなくローテーションする研修です。

選択研修の中で総合診療科を選択することで、ジェネラリストとしての基本的な考え方を学び、市中病院でcommon diseaseを数多く経験できます。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

内科専門医プログラム													内科専門医養成コース										
基本コース						1年目												2年目					
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科 (選択1)			救急			内科						外科 (選必1)		小児科 (選必2)		精神科・産科 (選必3)		内科 (選択2)			内科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)		

基本コースその1						1年目												2年目						内科専門医養成コース								
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
内科 (選択1)			救急			内科						選必1		選必2		内科 (選必3)		内科 (選択2・3)														
												← 地域医療 (週1) →																				

基本コースその2						1年目												2年目						内科専門医養成コース								
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
内科						選必1		選必2		内科 (選必3)		内科 (選択1)			内科 (選択2)			救急			内科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)											

- (コメント)
1. 救急および選択は、時期を固定でなく、最初を含め、各内科の切れ目のいずれかに入る可能性がある。
  2. 基本コースー1では2年目内科の期間に地域医療研修を行う。
  3. 基本コースー2では地域医療研修は選択の1コマを利用する。
  4. 選択必修1, 2は外科系/小児の中から選択、選択必修3は内科を含めすべての科から選択可能。
  5. 本コースを選択した場合、卒後3年目から内科専門科へのFIXが可能。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 消化器内科プログラム

### 消化器病専門医養成コース

1年目									2年目														
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科 (院内)	内科 (院内)	内科 (院内)	内科 (院内)	内科 (選択1)	内科 (選択1)	救急 (院内)			消化器外科 (選必1)	小児科 (選必2)	精神科 (選択3)	内科 (選択2)			内科 (選択3) (地域ブロック1ヵ月)								

(コメント)

選択1～選択2は院内又は院外、選択3は院外にて研修。2年間で内科学会認定医の取得条件である内科8科をローテート出来るように配慮しています。

消化器外科を組み入れる事で幅のある研修内容となっています。後期研修にもスムーズに移行できます。

## 感染症内科プログラム

### 感染症内科医養成コース

(コメント)

感染症を専門とする医師には、極めて幅広い知識と経験が必要です。特に推奨するプログラムは例示しませんが、初期研修では可能な限り多くの診療科を回って、様々な経験を積むことを要望します。専門研修はその後から始めれば十分です。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 小児科プログラム

推奨 1

小児科救急コース

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児科 (筑波大) (選択1)			内科(院内)						選択2			小児科 (選択3)			救急			外科 (選必1)		選必2		選必3	

← 地域医療(週1) →

推奨 2

小児科救急コース

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児科 (筑波大) (選択1)			内科(院内)						選択2			小児科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)			救急			外科 (選必1)		選必2		選必3	

〔コメント〕

救急患者が集中し、かつ指導体制が確立した病院で、「小児科」と「救急」の期間を一緒にした6か月間の研修を行います。医師として最も大切な急性期疾患のプライマリ・ケアを幅広く学ぶことを目的としたコースです。皆さんには『初期臨床研修で広い視野を育て、小児を含めたプライマリ・ケアに精通する医師』を目指して欲しいと願っています。選択3で小児科を選択しているため、選択必修2、選択必修3では各人の関心に応じた研修科目を選ぶことになりますが、どのような研修科目を選ぶのが良いかなど、小児科スタッフが親身に相談に乗ります。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 精神科神経科プログラム

精神科神経科医養成コース

1年目												2年目												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
精神科(院内) (選択1・2)						内科						神経放射線科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)			救急			小児精神 (選択3)			選必1		選必2	

(コメント)

早めに精神科の基礎を身につけていただくために、1年目に一度精神科で研修して、精神科独特の文化にまず慣れていただくことが主眼となります。一方、精神科において必要な各科の知識を研修できるようなシステムになっています。

内科は、特に神経内科、代謝内分泌・糖尿病内科などを選択することをお勧めします。

また、神経放射線科は、東京にある国立精神神経センター病院で精神神経科に必要な最新の知識の習得が可能です。

選択では、精神科救急、国立精神神経センター病院、そのほか(脳外科など)を2ヶ月ずつ選んでいただくこととなります。

最終的に、それぞれの研修医の先生が将来的にどのような専門性を持ちたいと考えていらっしゃるかを十分に考慮に入れ、スムーズに後期研修へ入れるようになっております。

本学以外の施設、例えば国立精神神経センター病院でも、本学出身の先輩が在籍しておりきめ細かく指導をさせていただきます。

安心して充実した精神科研修を受けることが可能なプログラムになっています。

## 皮膚科プログラム

皮膚科専門医養成コース

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科						皮膚科 (院内) (選択1)			救急			小児(院外) (選択2)		皮膚科 (選択3)		皮膚科 (選必1の振替)		皮膚科 (院内) (選択2)			外科(院外) (地域ブロック1ヵ月) (選択3)		

(コメント)

皮膚科研修を行うにあたって必要な基礎的臨床能力を習得することを目指す。1年目の早い時期に皮膚科を一度ローテートすることを推奨する。皮膚科の研修を早期に経験するためだけでなく、皮膚科と他科の関連について概略を知り各科での研修をより実りあるものとするためである。皮膚科専門医資格取得に必要な期間に初期研修期間を含めることもできるので、皮膚科に進むことを既に決めている場合には、J1となつてすぐに日本皮膚科入会のために皮膚科スタッフに連絡したほうがよい。

内科研修は院内、とくに内分泌代謝・糖尿病内科、膠原病リウマチアレルギー内科、血液内科、呼吸器内科を勧める。小児科は院外で一般的疾患を豊富に経験することを勧める。救急は、院内・院外どちらでも良いが、院内であれば麻酔科も併せて経験することを勧める。外科は、院外で一般外科、あるいは院内で形成外科か乳腺・甲状腺・内分泌外科を選択することを勧める。

後の皮膚科研修に役立てるために、さらに3か月程度を割いて他の診療科をローテートすることも考慮して良い。いずれにしろ、義務としてではなくよりレベルの高い皮膚科医を目指すための基礎作りとして、主体性を持って取り組むことを期待している。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 放射線診断・IVRプログラム その1

放射線診断・IVR養成コース

1年目									2年目																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
内科						救急			放射線診断 (院内) (選択1)			選必1			選必2			選必3			選択2			選択3		
												← 地域医療 (週1) →														

(コメント)  
 選択の期間9ヶ月のうち、放射線診断・IVRを3ヶ月回るコース。  
 1年目に放射線診断を3ヶ月回った後、各科で画像診断がどのように利用され、どのように役立ち、現時点での限界は何かを研修する。  
 2年目には、選択を2つ選び、その中で地域医療も研修する(1ヶ月集中的に回るか、6ヶ月週に一度回るかは個人の自由)。放射線診断においては各診療科の臨床を出来る限り幅広く見ておいた方が良いため、このコースがお勧めである。また後期研修では、放射線6ヶ月コース、9ヶ月コースに比べ、決して不利にならないように配慮する。選択の一つに病理診断を加えることも将来、有用である。

## 放射線診断・IVRプログラム その2

放射線診断・IVR養成コース

1年目									2年目																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
内科						救急			放射線診断 (院内) (選択1)			選必1			選必2			選必3			放射線治療 (選択2)			選択3 (地域ブロック1ヵ月)		

(コメント)  
 選択の期間9ヶ月のうち、放射線関連を6ヶ月回るコース。  
 1年目に放射線診断を3ヶ月回った後、各科で画像診断がどのように利用され、どのように役立ち、現時点での限界は何かを研修する。  
 2年目には、放射線科専門医の受験のため必須である放射線治療を3ヶ月研修する。選択科目は個人の好みに応じて選ぶのが良いが、地域医療は選択中に1ヶ月間集中的に回る。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 放射線診断・IVRプログラム その3

### 放射線診断・IVR養成コース

1年目									2年目																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
放射線診断 (院内) (選択1)			内科						救急			選必1			選必2			選必3			放射線治療 (院内) (選択2)			放射線診断 (院内・固定) (選択3)		
												← 地域医療 (週1) →														

(コメント)  
 選択の期間9ヶ月のうち、すべて放射線関連を回るコース。  
 1年目に放射線診断を3ヶ月回った後(出来るだけ早い時期が望ましい)、各科で画像診断がどのように利用され、どのように役立ち、現時点での限界は何かを研修する。  
 2年目には、放射線科専門医の受験のため必須である放射線治療を3ヶ月研修する。最後に、放射線診断を3ヶ月回り、後期研修へとつなげる(ただし人数により、治療と診断が入れ替わることもあり)。地域医療は放射線関連6ヶ月のうち、どこかで研修する(集中または週1)。

## 放射線腫瘍科プログラム

### 放射線腫瘍科専門医養成コース

1年目									2年目																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
内科			外科 (選択1)			内科			救急			産婦人科 (選必1)			選必3			小児 (選必2)			放射線腫瘍科 (地域ブロック1ヵ月) (選択3)			選択2		

(コメント)  
 放射線腫瘍科は、全身の腫瘍性疾患を取り扱う。初期研修の2年間では幅広い知識を習得すると共に放射線腫瘍科的な疾患の捉え方を学ぶ機会を設けている。放射線治療の対象となる疾患を多く経験できるという点では、内科系では消化器、呼吸器、血液の各内科が、外科系では消化器、呼吸器、乳腺・甲状腺・内分泌、脳神経、泌尿器、耳鼻、婦人科の各外科がお勧めである。選択2では再度放射線腫瘍科を選ぶことも可である。

# 各診療科推奨モデルコース

2011/8/8現在

## 水戸地域医療教育センターコース

1年目												2年目														
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
総合診療科（内科） 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター						外科 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター			救急 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター			選必2 小児科			選必3 筑波大学			選択1 筑波大学			選択2 筑波大学			選択3 筑波大学		
												← 地域医療（週1） →														

(コメント)  
 コメント:  
 水戸協同病院内に設置された筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターに於いて、日常経験することの多い疾患の初療から退院までを習得し、ジェネラリストとしての基本を身につけることを主眼としたコースです。診療科の枠にとらわれないカンファランスと、教員+チーフレジデントとのチーム医療が特徴です。  
 地域医療研修は選択必修2, 3, 選択1の期間に週1回おこないます。